

ユネスコ無形文化遺産に登録され、日本が世界に誇る「人形浄瑠璃 文楽」。
2005年より県内唯一の機会としてグランシップで毎年上演され、
今年もグランシップ出前公演として、はじめて森町で開催します。
太夫・三味線・人形遣いの三者が互いに息を合わせる「三位一体」で創り上げられる舞台は、
世界のほかの人形劇とは全く異なる文楽ならではの特長です。
江戸時代に大成され、日本を代表する伝統芸能として現代まで受け継がれてきた
高い技術と美しい人形の世界を、ぜひ生の舞台でお楽しみください。

あらすじ

『妹背山婦女庭訓』

杉酒屋の段 道行恋亭環 姫戻りの段 金殿の段

古代、大和で起きた蘇我入鹿のクーデター。ひそかに討伐計画を進める藤原鎌足・淡海父子のちの天智天皇と藤原鎌足による蘇我入鹿暗殺(645年)を題材とし、大和の様々な伝承を織り込んだ、近松半二ほか合作の五段の時代物で、明和八年(1771)、竹本座初演。入鹿討伐に巻き込まれた庶民の娘の悲恋を描く四段目をお届けします。
【杉酒屋の段】今日は七夕。三輪の里の杉酒屋の娘お三輪が、糸先に針をつけた紅白の苧環を供えて星に願うのは、最近隣りに引越して来た求馬との変わらぬ愛。ところが、求馬のもとには毎夜美しい姫が訪れていました。顔をあわせたお三輪と姫は、求馬の取りあいに。やがて夜道を駆け去る姫。決して素姓を明かさぬ姫の正体を暴こうと、あとを追う求馬。恋人を奪われまいと、お三輪も苧環を持ったまま追いかけてます。

【道行恋亭環】姫に追いついた求馬とお三輪。再び求馬を奪いあう二人。夜明けが迫り、先を急ぐ姫の袂に、求馬は手にしていた苧環の針をつけ、糸を頼りに追跡します。お三輪も同じく求馬の裾に針を刺したのですが……。

【姫戻りの段】姫が戻った先は入鹿の御殿。求馬実は淡海との恋を叶えるため、入鹿の妹であることを隠していた橘姫は、淡海のために、命に替えても、宮中から入鹿が盗んだ宝剣を奪い返そうと決意します。
【金殿の段】途中で糸が切れ、やつのことで御殿にたどり着いたお三輪。その耳に、今宵、求馬と姫が祝言を挙げるとの話が。恋人を奪われ、官女たちからも散々に辱められ、嫉妬と怒りに荒れ狂うお三輪を刺したのは、鎌足降参の使者漁師鱒七と偽って入鹿のもとに来ていた、鎌足の家来金輪五郎でした。鹿の生血を飲んだ母から生まれた入鹿の唯一の弱点は、爪黒の鹿の血と嫉妬に狂う女の生血とを注ぎかけた笛の音を聞くこと、意識を失うというものです。既に鹿の血は鎌足の手にあり、あと必要だったのは女の血。それが得られた今こそ入鹿討伐のとき。求馬の正体を知らされ、自身の死が恋人の役に立つことを喜んだお三輪は、ひたすら求馬を恋慕い、息絶えます。

美男美女三人による星空のもとでの美しい道行、豪華な御殿、そこに迷いこんだ娘の恋ゆえの不安や悲しみ、激しい怒りと哀れな最期、官女の意地悪さも含めて、見どころにあふれた人気演目です。

※舞台左側に字幕表示がございます。
(席によっては字幕が見えにくい場合がございますのであらかじめご了承ください)

配役表

妹背山婦女庭訓

豊竹 靖太夫

杉酒屋の段

豊竹 咲太夫
鶴澤 燕三
丁稚子太郎 吉田 玉勢
お三輪母 吉田 清五郎

道行恋亭環

お三輪 豊竹 陸太夫
求馬 豊竹 靖太夫
姫 野澤 錦糸
野澤 清
野澤 清
鶴澤 清
野澤 清
お三輪 豊竹 清十郎
藤原淡海 吉田 和生
求馬実は 吉田 和生

姫戻りの段

豊竹 靖太夫
鶴澤 清志郎
橘姫 吉田 文昇
求馬実は 吉田 和生
藤原淡海 吉田 和生

金殿の段

竹本 津駒太夫
竹澤 宗助
お三輪 豊竹 清十郎
豆腐の御用 吉田 箕二郎
漁師鱒七 吉田 玉也
金輪五郎 吉田 玉也
官女 大田 ぜい
花天 大田 ぜい

望月太明蔵社中



チケット購入者限定! **特別イベント**

「わかる! 文楽入門講座」
公演に出演している技芸員による、太夫・三味線の解説や実演などを間近でござんいただけます。
■2017年3月12日(日) 13:00~13:30
■森町文化会館 小ホール
■本公演のチケットご購入者対象

無料 申込不要
直接会場へお越しください
※先着順

「人形浄瑠璃 文楽」事前レクチャー

山川静夫の
ここがみどころ・ききどころ
~文楽人形遣いにせまる~

元NHKアナウンサーの山川静夫さんが、文楽のここに注目すると面白いというポイントをわかりやすく解説します。
《ゲスト》吉田一輔(文楽人形遣い) ほか
■2017年1月28日(土) 14:00~ ■森町文化会館 小ホール

【参加料】一般1,000円 こども・学生500円
【チケット販売】森町文化会館 TEL.0538-85-1111
【申込先】グランシップチケットセンター TEL.054-289-9000
FAX.054-203-5716
E-mail. info@granship.or.jp

中部地区発! ならくバスツアーもご用意!

森町文楽公演&文楽ワークショップ見学と
日本最大級 お雛様約3,000体の可睡齋ひなまつり

【行程】清水旧西友前(7:40発)⇒静岡駅南口(8:10発)⇒焼津駅北口(8:50発)⇒可睡齋ひなまつり(10:00~11:00)⇒袋井地元グルメの昼食とちよと買物(11:20~12:30)⇒「わかる! 文楽入門講座」見学(13:00~13:30)…文楽公演鑑賞(14:30~17:00)⇒焼津駅(17:50着)⇒静岡駅(18:30着)⇒清水(18:50着)

【旅行代金】大人 12,600円/中学生以下 10,000円
(観劇チケット・公演プログラム・入場料・交通費・昼食・保険料を含みます) ご自身で観劇チケット購入済み(チケット不要)の方もご参加いただけます。 大人9,000円/中学生以下9,000円(同額)

【主催・お申込み】
株コトブキ観光
TEL:054-281-0393

会場限定 文楽限定グッズ

会場内では人気の「文楽せんべい」をはじめ、文楽グッズを販売。観劇のおみやげにどうぞ。



交通アクセス

- 新東名高速・森掛川ICより車で約5分
- 東名高速・袋井ICより車で約20分
- 東名高速・掛川ICより車で約30分
- 天竜浜名湖鉄道・遠州森駅から徒歩で約10分
- 天竜浜名湖鉄道・森町病院前駅から徒歩で約1分

車椅子でご来場の方は、公演日前日までにご連絡ください。森町文化会館 TEL.0538-85-1111

森町文化会館 〒437-0215 周智郡森町森1485 TEL.0538-85-1111
グランシップ指定管理者:公益財団法人静岡県文化財団
ホームページアドレス <http://www.granship.or.jp/>

